

## 牧師所感：植西光雄牧師の死を悼む —千葉県八街地域キリスト教会連合会会員—

冒頭の植西光雄牧師は、千葉県八街市のキリスト教会連合会のメンバーで、去る2025年6月22日、この世での使命を全うし、神によって召された。享年88歳であった。筆者は連合会員の中で、最も近い（心情的にも距離的にも）間柄として敬愛し、キリストの福音を宣べ伝える同志であった。特に奥様を始め、御遺族の方達に哀悼を表する。

さて筆者が在日大韓基督教団の牧師定年の前年（2002年）に、開拓伝道を始めたのが八街であった。八街市の勢田地域で教会堂を建てて、牧会一年後の2003年10月に、八街市に存在する他教会の牧師先生に挨拶回りを行った。八街市に教派の違う教会が存在し、四教会の中に日本キリスト教団が二教会あった。

ひとつの教会は、植西光雄牧師が牧会する日本キリスト教団八街西伝道所であり、もう一箇所の教会が、近い所に存在している同じ日本キリスト教団八街教会であった。八街教会の牧師は女性で、片柳貞実牧師であった。

ところで、筆者は韓国の牧師であり、韓国の牧師でありながら専ら日本人相手に伝道することを使命とした。ある日、筆者は数人の男女の信徒をお伴して、教会訪問した。筆者の計画は、八街市に教会連合会を立ち上げて、日韓の牧師が協力して、福音を宣教しようとする狙いがあった。筆者の提案に賛同し、宣教会議が植西光雄牧師が牧会なさる八街西伝道所に集った。話し合いには、植西光雄牧師ご夫妻、片柳貞実牧師、そして筆者、傍聴席に筆者の家内（伝道師）、二人の信徒合わせて7、8人であった。会は進行し、神の助けによって、今迄なかった教会連合会を立ち上げることが決った。その日が2003年10月5日であった。その後連合会は六教会となり、一年に数回誠を尽くして宣教に当たった。早や時は流れ、二十三年が経過して、連合会は筆者を始め、牧師の老齢、死去等により幕を閉じることとなった。

今年92歳の筆者はまだ使命が残っているが、この二十数年間、福音伝道に余生を捧げて来られた植西光雄牧師の召天を心から哀悼する。